

令和5年度 第2回健康づくり支援部会 議事録

日 時：令和5年10月25日（水）19時45分～20時15分

場 所：市役所本庁舎10階 第4会議室

○会議次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 前回会議の議事録（案）の確認
 - (2) 令和4年度 健康推進課決算について
 - (3) 令和4年度 保健事業について
 - (4) 第二期けんこう帯広21の進捗状況について
 - (5) その他
- 3 閉会

○出席委員

吉田一郎委員、吉村典子委員、久保竹雄委員、金須俊雄委員、角谷巍啓専門委員、酒井國夫専門委員、高玉裕子専門委員

○事務局

健康保険室 佐藤室長
健康保険室健康推進課 長谷川係長、吉田主査、横山主任

○会議録

事務局

皆様、こんばんは。ただ今から、令和5年度第2回健康づくり支援部会を開会いたします。

本日は健康づくり支援部会、委員9名中、7名のご出席をいただいております。出席人数が委員の過半数に達していますことから、部会は成立しております。

それでは、これより議事の進行につきましては、吉田部会長にお願いいたします。

議事 (1)

部会長

それでは会議に入らせていただきます。最初に、議事(1)前回会議の議事録(案)の確認について議題といたします。この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。議事録につきまして、ご意見やご質問があればお願いします。

(異議なし)

部会長

議事録は了承されたものといたします。

議事 (2)

部会長

(2) 令和4年度健康推進課決算について議題といたします。事務局から説明願います。

事務局

資料2をご覧ください。令和4年度健康推進課決算の概要について、ご説明させていただきます。

総事業費は22億4,210万2,006円でございます。内訳ですが、まず資料左側、「保健衛生総務費」は決算額5億7,797万429円となっております。

主な事業といたしましては、「保健衛生推進費」として、健康まつりの負担金、難病連十勝支部の事業への補助、健康づくりガイド作成、AED貸貸借、心身障害者歯科治療費補助などのほか、「食・運動改善推進費」として、食生活改善推進員と健康づくり推進員の養成及び育成、各種教室の開催等、また、「公衆浴場対策費」として、市内の公衆浴場の確保のための各種事業への補助、ふれあい銭湯事業補助等を実施いたしました。

次に「訪問看護促進費」として、北海道総合在宅医療ケア事業団の会費、「健康増進センター管理費」として、大正と川西の健康増進センターの運営管理、「看護師等養成機関確保対策費」として、十勝管内19市町村で運営している高等看護学院の運営費分担金、市内に2箇所ある看護師養成機関に対する補助、「看護師等養成所整備補助事業費」として、医師会看護専門学校の整備に対する補助、「帯広厚生病院運営費補助事業費」として、管内19市町村による帯広厚生病院の運営支援、すこやかネット事業、などを実施しました。

なお、妊婦・乳幼児健康診査費、母子保健相談指導費、心の発達支援事業費、食育推進事業費については、令和2年度より組織再編のため健康推進課関係予算として計上しておりますが、従前より児童育成部会で説明していることから当部会においては、決算額のみお示しすることとさせていただきます。

次に、資料中央の「予防費」につきましては、決算額13億8,987万2,250円となっております。

主な事業といたしまして、「がん検診・健康診査費」として、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、市民健康診査、骨粗しょう検診等に要する経費など、「予防接種費」として、各種定期の予防接種費用、「感染症予防費」として、65歳以上の高齢者等及び中学3年生、高校3年生に対する季節性インフルエンザ予防接種、65歳以上5歳刻みの高齢者等に対する成人用肺炎球菌ワクチン予防接種、エキノコックス症検査、新型コロナウイルス予防接種を実施しております。また、「結核予防費」として、結核検診、「健康相談費」として、保健師や栄養士などによる相談、「健康教育費」として、各種健康講座、スマートライフプロジェクトの推進、そして健康マイレージ事業を行っています。

また、「自殺対策事業」として、生きるを支える連携会議の開催や、多分野合同研修会の実施、「訪問保健指導費」として、保健師の個別訪問による保健指導などを実施しました。

次に、「夜間急病診療費」は、決算額2億4,834万3,163円でございます。

主な事業といたしましては、まず「休日夜間急病センター管理運営費」として、指定管理による休日夜間急病センターの管理運営を行っているものです。

次に、「救急医療対策費」として、在宅当番、二次救急医療、休日歯科診療業務、急病テレホンセンターなどの運営の委託、小児救急医療の補助を行ったものです。

最後に「保健福祉センター費」は、決算額 2,591 万 6,164 円となっております。「保健福祉センター」の管理運営に要する費用でございます。

数字横の矢印表記は、前年度決算対比での増減を表しております。細い矢印の、5%未満の増減につきましては、前年度とほぼ同様のため説明を割愛させていただきますが、太い矢印である5%~10%未満と、10%以上のそれぞれの増減につきましてご説明いたします。

はじめに、令和4年度より会計年度任用職員の報酬等が人事課所管の予算に移行したことにより、減となっているものがいくつかございます。

まず、資料左側の上から二つ目の「食・運動改善推進費」は68.0%の減、三つ下の「健康増進センター管理費」は21.3%の減となっております。また、資料中央の真ん中下にある「健康相談費」は75.9%の減、その下の「健康教育費」は7.2%の減となっております。

次に、その他の要因により増減があったものとしまして、資料左上の「保健衛生推進費」につきましては、10.3%の増となっております。

こちらは、第二期けんこう帯広21の次期計画策定に係る市民アンケート調査を実施したことにより、増となっております。

次に、六つ下の「看護師等養成所整備補助事業費」につきましては、医師会看護専門学校の整備に対する補助を行ったことにより、皆増となっております。

次に、資料中央の「がん検診・健康診査費」につきましては、7.5%の増となっております。こちらは、各種健康診査の受診者数が増加したことによるものです。

次に、「感染症予防費」につきましては、20.8%の減となっております。こちらは、令和3年度と比べて、新型コロナワクチンの接種件数が減少したことなどによるものです。

次に、「結核予防費」につきましては、54.7%の増となっております。こちらは、結核検診業務の委託単価が増加したことによるものです。

次に、「訪問保健指導費」につきましては、16.2%の減となっております。こちらは、公用車の燃料使用量が減少したことによるものです。

最後に、資料右側の「保健福祉センター管理費」につきましては、14.3%の増となっております。こちらは、電気料金の値上げに伴い、光熱水費が増加したことによるものです。説明は以上です。

部会長

ただいまの事務局説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

部会長

決算額の減少について、会計年度任用職員に関してあらためて理由を説明してください。

事務局

もともと健康推進課で予算計上していた人件費でしたが、制度が変わったため人事課所管に移行したものです。市役所の仕組み上のことで、実施していることなどは変わっていません。

部会長

がん検診・健康診査費が 7.5%増となっており、受診者が増えたからということはわかりましたが、どのくらい増えているのですか。

事務局

資料3の3ページにあるとおり検診の種類によって増え方が異なりますが、総体としては増えています。

委員

新型コロナウイルス感染症の関係で、がん検診の受診者は減っていたが、元に戻りつつあるということですか。

事務局

集団検診では、令和2年度から3年度にかけて緊急事態宣言時に中止したり、感染対策のため時間当たりの受け入れ人数を減らしていた経過もありました。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、時間当たりの定員を増やすことはできないかなど、集団検診を実施している対がん協会とも検討しているところです。

議事 (3)

部会長

(3) 令和4年度保健事業について議題といたします。事務局から説明願います。

事務局

資料3の1ページ目の「1.保健福祉センターの利用状況」をご覧ください。

(1) の事業等の利用状況であります。表の一番下に記載しています合計数の利用者の推移をご覧ください。令和3年度に比べ、令和4年度は利用件数が約40.0%の増、利用者数は約9.9%の減となっております。主な要因につきましては、令和4年度は感染対策を講じた上で、各種事業で利用されたことから利用件数は増加しております。一方で、新型コロナワクチンの集団接種会場としての利用が少なかったことなどにより、利用者数は減少しております。

(2) の各種相談の利用状況では、相談内容により増減はありますが、ことばの教室に係る相談件数が多く、合計では令和3年度より796人の減となっております。

次に、「2.感染症などの予防」をご覧ください。(1)の予防接種の実施状況は、ご覧のとおりとなっております。

(2) の結核検診の実施状況につきまして、15～39 歳が結核検診、40 歳以上の肺がん検診の X 線検査の受診者数の計となっておりますが、令和 3 年度に比べると 263 名の増となっております。

次に、2 ページ目をご覧ください。(3) 成人用肺炎球菌予防接種は、平成 26 年 10 月から定期接種化され、65 歳以上 5 歳刻みの年齢の高齢者を対象に実施しております。

(4) のインフルエンザ予防接種は、中 3、高 3 と 65 歳以上の高齢者等に対しての接種事業を実施し、実績は記載のとおりとなっております。

(5) の新型コロナワクチンの予防接種については、生後 6 ヶ月以上の方を対象に臨時接種を行いました。

(6) エキノコックス症検診の実施状況については、令和 3 年度は新聞等の報道の影響により関心が高まり受診者数が一時的に増えましたが、令和 4 年度は平年並みの受診者数に戻っております。

「3. 生活習慣病の予防」では、(1) 健康教育の実施状況について、令和 4 年度は前年度と比較すると、実施回数、参加人数ともに増加しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大前よりは少ない状況が続いております。

(2) のランチ＆運動つき健診教室は、感染対策を行いながら、試食と栄養講話、運動を行いました。糖尿病の発症予防に関しては、感染対策を講じながら講座や個別面談を実施し、パネル展も開催しました。糖尿病の重症化予防につきましては、原則来所による面談とし、個別の保健指導に取り組みました。歩数計機能付きスマートフォンアプリを活用している「健康マイレージ」事業は、令和 5 年 3 月末時点で 3,701 名が参加しています。

働き盛りの健康づくりの推進を行う、スマートライフプロジェクトの登録企業は、令和 5 年 3 月末時点で 95 件となりました。(3) の健康相談については、新型コロナウイルス感染症に伴う健康相談が多く、増加となっております。

次に、3 ページをご覧ください。(4) の訪問指導につきましては、令和 3 年度は新型コロナウイルスの影響により訪問数が減りましたが、令和 4 年度は感染対策を講じた上で実施し、令和 3 年度に比べ少し増加しています。

(5) 検診の実施状況であります。受診者数はご覧のとおりとなっております。がん検診におきましては前年度とほぼ横ばいとなっております。

(6) 検診・検査の実施状況健診事後指導については、令和 4 年度より新たに健診結果が要受診又は要検査となった方に対し、受診勧奨・事後指導の文書を送付したことが影響し、令和 3 年度と比べて実施数が増となっております。

次に、4 ページをご覧ください。「4. 自殺対策」につきましては、関係機関や市職員等を対象に「ひきこもり支援に関する地域連携」をテーマに、多分野合同研修会を開催いたしました。その他、ゲートキーパー養成講座や SOS の出し方教室を実施しました。

総合相談会につきましては、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置に伴い延期となりましたが、令和 4 年度に開催され相談対応を行いました。携帯電話を利用したメンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」のアクセス数は令和 3 年度と比べて増加しています。

最後に、「5. 救急医療体制に関する実施状況」であります。帯広市では、夜間・休日等における医療不安の解消と急病者に対処するため、休日夜間急病センター運営事業や、医療機関の協力をいただき、在宅当番医制や二次救急医療体制を確立しております。利用状況等につきましては、ご覧のとおり

りです。

令和4年度保健事業についての説明は、以上でございます。

部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はありますか。

(特になし)

議事(4)

部会長

(4) 第二期けんこう帯広21の進捗状況について議題といたします。事務局から説明願います。

事務局

資料4をご覧ください。

第二期けんこう帯広21は、令和3年度の実施状況をもって、今年度には最終評価をお示ししたところですが、令和4年度の進捗状況をご報告いたします。

令和4年度の実績については、太線で囲んであり、ベースライン値からみて目標値に近づいているものや達成しているものを◎、離れているものを▼で示しています。表の右側には、令和4年度の関係各課の健康づくりに関する取り組み内容を掲載しています。

重点指標の糖尿病の項目では、2の糖尿病有病者の増加の抑制、4のメタボリックシンドロームの該当者が目標値から離れて悪化しています。3の血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合は目標値に達しているほか、特定健診受診率、特定保健指導実施率は上昇しています。

糖尿病にかかる取り組みとしてはホームページやパネル展などで、周知啓発を図ったほか、血糖値改善講座、糖尿病重症化予防の保健指導などを行いました。

がんの項目では、肺がんは目標値に近づき、子宮頸がん、乳がんについては目標値を達成しています。一方で、胃がん、大腸がんはベースライン値よりも低い受診率となっています。取り組みとしては、がんやがん検診に関する周知啓発として、広報や出前健康講座、10月にPink ribbon in おびひろで企業と連携した取り組みを行いました。また、がん検診を受けやすい体制として、託児付き検診や集団検診のインターネットによる申し込みなどを行いました。

こころの健康に関する指標について、8の自殺者の割合は、人口10万人あたりの自殺者ですが20.1人で、前年度と比較すると増加しています。こころの健康に関する取り組みとしては、ゲートキーパー養成講座、広報など心の健康や自殺予防に関する普及啓発を行ったほか、健康推進課や障害福祉課、地域福祉課、市民活動課、子育て支援課などで、相談対応を行いました。

ライフステージ別では、妊娠、出産期及び乳幼児期の健康について、4つすべての指標で、目標値に達したか、または近づいている結果です。取り組みとしては、乳幼児健診や母性相談室での保健指導や、図書館での食育月間でのイベントや乳幼児歯科健診・フッ化物塗布などを行いました。

次に、学齢期については、14の肥満傾向にある児童の割合ですが、「軽度以上の肥満児」の割合は

15.7%で、昨年度よりは減少していますが増加傾向にあります。12歳児の一人平均う歯数は0.8本であり、目標値に達しています。

取り組みとしては、食育指導や保健体育等で健康について学ぶほか、飲酒・喫煙行為が想定される場所での街頭巡回などを行いました。

青年期から中年期では、市民アンケート結果が評価指標となっているものは最終評価時に報告したものとなっているので割愛させていただきます。

19の脂質異常症の増加の抑制の項目では、昨年よりも増加し、ベースラインから離れて悪化している状況です。

20の健康づくりに関する活動に取り組んでいる企業登録数は、スマートライフプロジェクトに賛同する企業団体の数ですが、目標値に近づいている状況です。

29の40代の歯周炎を有する人の割合や、30の35～44歳で喪失歯のない人の割合などは、目標の方向に向かっており良い傾向が見られています。取り組みとしては、ホームページや広報、動画配信等で、健診や健康づくりの情報を発信するほか、健診や脳ドック等の保健事業や健康相談・訪問指導などを行いました。

高齢期では、35の60歳代の進行した歯周炎を有する人の割合は、46.0%で昨年度よりも減少しており目標を達成しております。取り組みとしては、認知症予防やフレイル予防などの部旧啓発、一般介護予防事業の実施、後期高齢者健診や歯科ドックを行いました。

第二期けんこう帯広21の進捗についての報告は以上です。

部会長

ただいまの説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

(特になし)

議事(5)

部会長

次に(5)その他について、委員の皆様から何かありますか。

(特になし)

事務局

今後のスケジュールにつきまして、ご説明させていただきます。

委員の皆様には、すでにご案内しているとおり11月13日に高齢者支援部会・健康づくり支援部会合同部会と、その後健康づくり支援部会を開催し、第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、第三期けんこう帯広21、(仮称)生きるを支える推進計画の原案をお示ししたいと考えております。

第三期けんこう帯広21、(仮称)生きるを支える推進計画策定の進捗状況としては、9月までにすべ

ての関係団体との意見交換が終了し、今までにいただいた関係団体や市民の皆様の見解、そして本部会での各委員からの意見を踏まえ、庁内関係課とも協議・検討を重ね、次期計画の原案を作成しているところです。

お忙しいところ、近い日にちでの会議開催となり大変申し訳ありませんが、ご協力のほどどうぞよろしく願いいたします。

部会長

以上で予定されている議事は終了いたしました。本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。